

## 17【概要】石岡市障害福祉施設個別施設計画（案）について

### ■基本的な考え方

- ・地域活動支援センターけやきの家は、他の施設等に移転し、存続する。

けやきの家は、障害者自立支援法（平成 16 年）制定以前は、障害者福祉施設（共同作業所）として現在の「特定非営利法人いぶき」の前身である「石岡地域精神障害者後援会（家族会）」が運営を開始している。

障害者自立支援法は、現在、障害者総合支援法に名前を変え、その第 77 条第 9 項（平成 22 年「市町村の地域生活支援事業」）及び厚生労働省令第 175 号（平成 18 年 9 月 29 日）に基づき、障害者及び障害児に創作的活動及び生産活動の機会の提供、障害者等の社会との交流の促進等の便宜を供与することにより、障害者等の地域生活支援の促進を図ることを目的として、石岡市障害者地域活動支援センター事業実施要項を定め、地域活動支援センターとして「特定非営利法人いぶき」が受託運営をしており、その目的達成のため必要な施設であると共に、移転先を八郷総合支所や他の施設等を含めて検討し、引き続き事業を継続していくことが市の責務である。

- ・障害者福祉作業所ゆり及び障害者福祉作業所ひまわりは、現在地において存続する。

障害者福祉作業所ゆりは、平成 14 年 7 月から八郷町社会福祉協議会により運営開始され、障害者福祉作業所ひまわりは、昭和 63 年 10 月に市直営により運営が開始、その後石岡市社会福祉協議会に委託されている。

当市では、法及び省令に基づき、石岡市障害者福祉作業所条例を定め、障害者に創作的活動及び生産活動の場を提供し、障害者の自立及び社会参加を促進することを設置目的としており、その目的達成のため重要な施設であり、存続していくことが市の責務である。

- ・地域活動支援センターけやきの家の改修は移転後、移転先施設等に準ずる。  
障害者福祉作業所ゆりは、中規模改修及び長寿命化改修を行っていく。  
障害者福祉作業所ひまわりの改修は、ふれあいの里石岡ひまわりの館に準ずる。

けやきの家は移転予定であることから、改修計画については移転先に準ずることとする。

また、ひまわりはふれあいの里石岡ひまわりの館内に設置されており、改修計画についてはふれあいの里石岡ひまわりの館に準ずることとする。

ゆりは木造建築ではあるが建築年度は平成 21 年度と新しく、今後長寿命化のための改修を行い使用していく。

### 1. 対象施設（障害福祉施設）

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)	複合・ 併設施設	備考
					高齢福祉施設	
1 地域活動支援センターけやきの家	国府四丁目 5 番 3 号	227.00	昭和 34	RC 造		
2 障害者福祉作業所ゆり	柿岡 2300 番地	197.00	平成 21	W 造		
3 障害者福祉作業所ひまわり	大砂 10527 番地 6	184.25	平成 11	RC 造	●	ひまわりの館 と複合施設
合計		608.25				

### 2. 計画期間

平成 32 年度（2020 年度）から令和 11 年度（2029 年度）までの 10 年間。

### 3. 対策の優先順位の考え方

優先順位① 利用者の安全安心を確保するため、施設の劣化等に対する施設修繕を行う。

優先順位② さらなるバリアフリー化を目指す。

#### 4. 個別施設の状態等

安全性：けやきの家は**安全性が確保されていないため**，他の施設等に移転する必要がある。  
ゆり及びひまわりは**安全性が確保されている**。

#### 5. 対策内容と実施時期 下記工程表のとおり。

- ・「けやきの家」 他の施設等に移転し，移転先の計画に沿った改修を予定。
- ・「ゆり」 2022年度に中規模改修予定。
- ・「ひまわり」 ひまわりの館個別施設計画に沿った改修を予定。（2022年度予定）  
※将来（今後10年間）の施設更新と費用を工程表に示すと，次のようになります。

#### 工程表

（単位：千円）

施設名	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
けやきの家	他の施設等に移転し，移転先の計画に沿った改修を予定									
ゆり			中規模改修 14,184							
ひまわり	ひまわりの館個別施設計画に沿った改修を予定									

#### 6. 対策費用

- ・「けやきの家」：移転先の計画に沿った改修
- ・「ゆり」：更新単価（保健・福祉その他施設 72,000＝72千円）×施設面積（197㎡）≒**14,184千円**
- ・「ひまわり」：ひまわりの館個別施設計画に沿った改修（2022年度改修予定）

※「石岡市公共施設白書」のコスト試算で用いた地域総合整備財団の更新費用試算ソフトの共通試算条件の更新単価（中規模改修費用の単価）及び計算式を使用した10年間の更新費用。ただし，健全化調査や設計費用等は含まない。

#### 7. 今後の対応方針

- ・3施設共に存続し安全安心なサービスが提供できる施設を維持していく。
- ・人口減少による利用者の減少を見据えながら，集約化についても継続して検討していく。

#### 今後の対応上の課題

- ・地域活動支援センターけやきの家については，八郷総合支所有効活用事業における支所複合化の協議の結果，計画変更もありえる。